

ごあいさつ

このたびは追手門学院大学附属図書館宮本輝ミュージアムにご来場いただき、誠にありがとうございます。

小説を読んでいると、ふと、とても美しい言葉や言いまわしに出会うことがあります。ある真理を上手く言い当てているなあ、と感心する言葉や、思いもよらなかった事象を新しく指し示してくれるような言葉は、人を強く惹きつけます。表現が、一種の魔法のようにも思えます。

宮本輝も、現代の言葉の魔術師の一人です。

小説の中の言葉は、その小説を構成する重要な要素であると同時に、その小説から切り離されても、時に、独立した魅力の輝きを放ちます。この2015年度後期企画展においても、宮本輝の文章から、素敵な言葉をたくさん集めてみました。ぜひ、声に出して、これらの言葉をじっくりと味わってみてください。その声の先に、別世界が広がると思います。

その次に、これらの言葉を、いろいろな場面に移し替え、援用してみてください。新しい文脈の中で、別の魅力の相貌を見せることと思います。

この企画展をきっかけに、宮本輝の美しい言葉たちが、口から口へと伝えられていくことを、心より願っております。

今回の企画展に際しまして、多くの方々のご協力をいただきました。関係各位の多大なるご協力に感謝し、この場を借りて深くお礼を申し上げます。

宮本輝ミュージアム

プログラムディレクター 真銅正宏
(追手門学院大学国際教養学部教授)